

第 10 期施設等整備事業計画

令和 2 年 3 月

寝屋川市上下水道局

目 次

- 1 はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 第 10 期施設等整備事業計画・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 施設等整備事業計画の沿革・・・・・・・・・・・・ 3

参 考

- 施設等整備事業計画（年度別計画表）・・・・・・・・ 4
- 送・配水管布設工事年度別明細・・・・・・・・・・・・ 5

※図 面（別添）

1 はじめに

上下水道局では、給水人口の減少や節水型社会への移行等により減少し続ける配水量や、高度経済成長期に整備した水道施設が更新時期を迎えることを踏まえて、安全で良質な水道水を将来にわたって安定的に供給し続けるため、平成 17 年度に策定した寝屋川市水道ビジョンにおいて今後の水道事業の長期的な方向を示すとともに、個々の事業の実施に係る財政的な検討を加えた実施計画及びこれに基づく施設等整備事業計画に定める水道施設の整備や水道管路の更新に取り組んできました。

平成 28 年度から令和 2 年度を計画期間とする第 9 期施設等整備事業計画においては当初の計画を上回る水道管路の更新を実施することができたことから、計画を 1 年前倒しし、新たに令和 2 年度を初年度とする第 10 期施設等整備事業計画を策定しました。

2 第 10 期施設等整備事業計画

配水量の減少などの厳しい経営環境を踏まえ、経営基盤の健全性維持と必要な整備・更新事業の実施との両立を目指し、緊急性や重要性、熟度等に基づき個々の事業の優先度等を勘案して策定した第 10 期施設等整備事業計画（6 箇年）を着実に推進し、安全で良質な水道水の安定供給の維持向上を図ります。

事業期間	自 令和 2 年 4 月 1 日
	至 令和 8 年 3 月 31 日

総事業費	7,356,000 千円
------	--------------

○水道管路

第 10 期施設等整備事業計画（令和 2～7 年度）では、アセットマネジメントの概念を取り入れ、財政的な視点と合わせて中長期の更新需要・財政収支見通しに基づく計画的な施設更新を行い、基幹管路、重要給水施設管路の耐震化について重点的に取り組むこととしています。また、口径 50mm の小口径管路についても、耐震性継手を有する管材料を使用し、引き続き災害に強い管路網の構築を図っていきます。

計画延長合計

L = 28,065m

策定方針別内訳

- ・ 重要給水施設への配水管路の耐震化 L = 2,534m
- ・ 基幹管路（送水管・配水本管）の耐震化 L = 1,176m
- ・ 安定給水確保のための配水管路の耐震化 L = 24,355m

消火栓設置工事 114 基

○水道施設

第 9 期施設等整備事業計画では、配水場・配水池など水道施設の更新及び耐震補強工事を推進することで、平成 30 年度末に水道施設の耐震化率 100%を達成したことから、第 10 期施設等整備事業計画では、配水施設のポンプ設備をはじめ電気・計装設備についてもアセットマネジメントの結果や配水量の推移を考慮したうえで、設備の更新を図るとともに規模の適正化を図ります。

3 施設等整備事業の沿革

	期 間	当初計画額 (百万円)	実績額 (百万円)
第1期	昭和51年度～昭和55年度	1,250	1,178
第2期	昭和56年度～昭和60年度	1,400	1,400
第3期	昭和61年度～平成2年度	1,500	1,197
第4期	平成3年度～平成7年度	1,200	1,146
第5期	平成8年度～平成12年度	1,880	1,646
第6期	平成13年度～平成17年度	2,525	1,748
第7期	平成18年度～平成22年度	3,480	1,853
第8期	平成23年度～平成27年度	5,728	4,696
第9期	平成28年度～令和元年度	4,925	※3,798
第10期	令和2年度～令和7年度	7,356	

※令和元年度の実績額は計画値を採用

施設等整備事業計画(年度別計画表)

(千円)

全体計画	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
送・配水管 5,779,929 L=28,065m	重要給水施設への配水管路の耐震化 φ150～φ300 L=410m 基幹管路の耐震化 φ400 L=123m 安定給水確保のための配水管路の耐震化 φ50～φ350 L=4,479m 消火栓設置工事 21基 計 L=5,012m 987,655	重要給水施設への配水管路の耐震化 φ150～φ200 L=332m 基幹管路の耐震化 φ350 L=140m 安定給水確保のための配水管路の耐震化 φ50～φ300 L=3,905m 消火栓設置工事 24基 計 L=4,377m 959,705	重要給水施設への配水管路の耐震化 φ200 L=238m 基幹管路の耐震化 φ500 L=173m 安定給水確保のための配水管路の耐震化 φ50～φ350 L=3,721m 消火栓設置工事 18基 計 L=4,132m 974,283	重要給水施設への配水管路の耐震化 φ150～φ350 L=771m 基幹管路の耐震化 φ350 L=201m 安定給水確保のための配水管路の耐震化 φ50～φ350 L=3,507m 消火栓設置工事 13基 計 L=4,479m 944,458	重要給水施設への配水管路の耐震化 φ75～φ200 L=413m 基幹管路の耐震化 φ350 L=245m 安定給水確保のための配水管路の耐震化 φ50～φ300 L=4,478m 消火栓設置工事 18基 計 L=5,136m 981,350	重要給水施設への配水管路の耐震化 φ75～φ350 L=370m 基幹管路の耐震化 φ350 L=294m 安定給水確保のための配水管路の耐震化 φ50～φ150 L=4,265m 消火栓設置工事 20基 計 L=4,929m 932,478
送配水施設等 1,057,859	楠根配水場配水ポンプ更新工事 (低区配水ポンプ及び設備の更新) 明德配水池緊急遮断弁改造 (遮断弁に過流量計設置、中央改造) 計 65,617	楠根配水場配水ポンプ更新工事 (低区配水ポンプ及び設備の更新) 計 354,828	楠根配水場配水ポンプ更新工事 (低区配水ポンプ及び設備の更新) 計 177,414	明德ポンプ場受水池内面防水 寝屋配水池内・外面、屋上防水 計 160,000	明德ポンプ場送水ポンプ、電気・計装設備更新工事 (低圧電気・送水ポンプ・計装・テレメータ設備の更新) 寝屋配水池内・外面、屋上防水 計 150,000	明德ポンプ場送水ポンプ、電気・計装設備更新工事 (低圧電気・送水ポンプ・計装・テレメータ設備の更新) 計 150,000
設計委託 65,000	計 0	計 0	明德ポンプ場送水ポンプ、電気・計装設備基本設計 (低圧電気・送水ポンプ・計装・テレメータ設備の更新基本設計) 計 10,000	明德ポンプ場送水ポンプ、電気・計装設備詳細設計 (低圧電気・送水ポンプ・計装・テレメータ設備の更新詳細設計) 計 15,000	成田東配水池2池化及び電気設備基本設計 (低圧電気・計装、自家発設備の更新、配水池の2池化基本設計) 計 10,000	成田東配水池2池化及び電気設備詳細設計 (低圧電気・計装、自家発設備の更新、配水池の2池化詳細設計) 寝屋配水池電気設備更新設計 (低圧電気、計装設備の更新設計) 計 30,000
小計 6,902,788	1,053,272	1,314,533	1,161,697	1,119,458	1,141,350	1,112,478
事務費 453,212	75,728	75,467	75,303	75,542	75,650	75,522
合計 7,356,000	1,129,000	1,390,000	1,237,000	1,195,000	1,217,000	1,188,000
企業債 4,008,676	585,164	747,306	648,378	626,740	709,308	691,780
国庫補助金 0	0	0	0	0	0	0
工事負担金 91,543	14,289	15,471	15,706	15,225	15,820	15,032
水道安全対策 事業出資金 472,326	115,437	119,019	122,663	115,207	0	0
自己資金 2,783,455	414,110	508,204	450,253	437,828	491,872	481,188